

# 指導計画マニュアル

予習・復習の計画の立て方とテキストの使用法

## 目次

- ・予習・復習の指示の与え方(p.1~p.2)
- ・中学生用テキストの種類(p.3)
- ・中学生用テキストの使い方(p.4~p.8)
- ・中学生用テキストの教科別指導方法(p.9~p.11)
- ・小学生用テキストの種類(p.12)
- ・小学生用テキストの使い方(p.13~p.14)
- ・高校生用テキストの種類(p.15)
- ・高校生用テキストの使い方(p.16~p.17)
- ・算数・数学、英語系統図(p.18~p.19)

## 中学生用テキスト Mate HomeStudy



基本セット

まるわかり要点シート/予習・復習らくらく帳/できるモンテスト対策本 弱点まとめ本

## 小学生用テキスト Mate HomeStudy



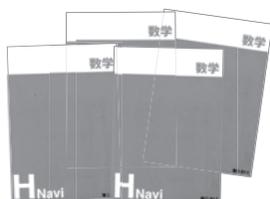
基本セット

まるわかり要点シート/予習・復習らくらく帳/できるモンテスト対策本

## 高校生用テキスト SUCCESS / H<sub>Navi</sub> / Final Method



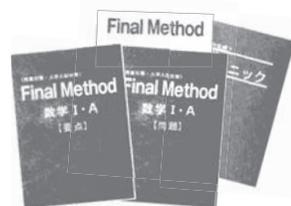
教科書パーフェクト



高校ハイスコアナビ



基礎力養成ゼミ  
(現役合格ゼミ)



ファイナルメソッド

# 予習・復習の指示の与え方



みなさんが家庭教師として指導するのは、1週間のうち1・2回程度です。それに対し、生徒さん1人で勉強する時間は週5・6日と、こちらの方が圧倒的に多いですね。

みなさんがどんなに一生懸命教えても、1人の時の勉強法をしっかりと教えてあげられないと、絶対に成績は伸びません。**生徒さん1人の時の「予習・復習の与え方」**が重要なんです。

保護者さまにも「自宅で勉強する習慣、やり方を教えてほしい」「やる気を引き出してほしい」ということで任せていただいています。ただ、勉強の習慣はそんなに簡単に身につくものではありません。”根気よく、あきらめずに”やっていきましょう。

※困ったことなどがあれば、いつでも気軽にスタッフまでご相談ください。

## 予習・復習計画帳の使い方

- Step1 計画を立てましょう  
生徒さんから聞いた授業の様子をもとに計画を立てましょう。
- Step2 宿題を一緒に決めましょう  
生徒さんと一緒に1週間のスケジュールを決めます。
- Step3 目標を立てましょう  
絶対にクリアしたい1週間の目標を立てましょう。



### 生徒さんにやってもらうこと

計画帳はすぐ取り出せる場所に置き、毎日確認！勉強した時間も書いてもらいましょう。指導がある前の日に、自己チェックと今週がんばったことを書いてもらいましょう。

## 予習・復習計画帳の書き方

- ① 日付を書き入れる
- ② 今週の目標を立てる
- ③ 授業のある日に☆をつけ、前日と当日に予習・復習をさせる
- ④ やるページと番号を記入



## テキストを使った予習の出し方 ○テキストは書き込み式です。

学校の授業の前日に行なう予習として指示を出しましょう。

1. 予習・復習らくらく帳の目次を開き、学校の授業の進度に合った単元の【教科書の要点】と【パターン】を読むように指示を出しましょう。
2. 読んでもわからない所に、シャーペン・鉛筆で線を引くように指示を出しましょう。  
※余裕があれば【基本問題】にも挑戦させましょう。
3. 学校の授業では、自分で線を引いた部分を集中的に聞くように指示を出しましょう。

予習の段階では、内容を全部理解することよりも、どこをポイントにして授業を受ければよいかを生徒さん自身が把握することが目的です。学校の授業中に覚えられる箇所が増えると、指導の際に本当にわからないところだけに時間をかけられるので、効率的に成績を伸ばすことができます。つまり、この予習の習慣をしっかりと定着させることが、成績アップの大事な『はじめの一步』なのです。まずは、この予習の習慣づけを目標にしてください。

## テキストを使った復習の出し方 ○テキストは書き込み式です。

学校の授業があった日の夜に行なう復習として指示を出しましょう。

1. 予習の時にわからずチェックした項目や問題を確認し、それでも理解ができなかった所に蛍光ペンなどの色ペン(※)でチェックするように指示を出しましょう。  
※色は生徒さんと一緒に決めてください。使用する色は1色に統一してください。
2. 課題として生徒さんのレベルに合わせて【基本問題】から問題を出しましょう。
3. 解けない問題や、解くのに時間がかかった問題に色ペンでチェックするように指示を出しましょう。  
※わからないところは、できるだけ教科書などを使って調べさせましょう。

色ペンでチェックしておく、**チェックした所=弱点**となり、指導の時や、見直し、テスト勉強の時に役立ちますので、必ずチェックするよう促してください。

指導では、色ペンでチェックした所を中心に丁寧に教えてあげてください。

また、暗記物に関しては、確認テストを行なうようにしてください。

**最低限、1日1間は覚えてもらい、毎週7問は確認テストをやりましょう。**

# 中学生用テキストの種類



## 普通の学校の授業の予習・復習、テスト対策

### まるわかり要点シート 全教科【標準版】

毎日の予習・復習やテスト勉強の際につまずいた部分やわからない部分を確認するための参考書です。巻末には『テスト直前チェック』もついているので、テストはもちろん、高校入試対策としても最適です。付属の赤いシートでポイントを押さえることで、理解度を深めます。



### 予習・復習らくらく帳 英・数・国【教科書準拠】 理・社【標準版】

学校の教科書ごとに作られた予習・復習が効率的にできるテキストです。要点と問題がまとまっています。どんなに時間がなくても、1日たった15分でできる仕様になっています。



### でるモンテスト対策本 英・数・国【教科書準拠】 理・社【標準版】

テストに出やすい問題を集めた予想問題集です。「25分」の制限時間を設けているので、解答の時間配分も同時に鍛えられます。さらに、苦手な問題は『予習・復習らくらく帳』や『まるわかり要点シート』に戻って基本を確認できるので効率的にテスト対策ができます。



## 長期休みを利用したニガテ対策、受験対策

### 弱点まとめ本 全教科【標準版】 ※購入されたご家庭のみ

弱点に絞った総復習を効率的にできる長期休み用のテキストです。確認問題でしっかり基本を押さえ、弱点チェック問題を繰り返すことで苦手を克服することができます。ポイント例題があるので、応用力の幅も広がり、受験対策としても役立ちます。



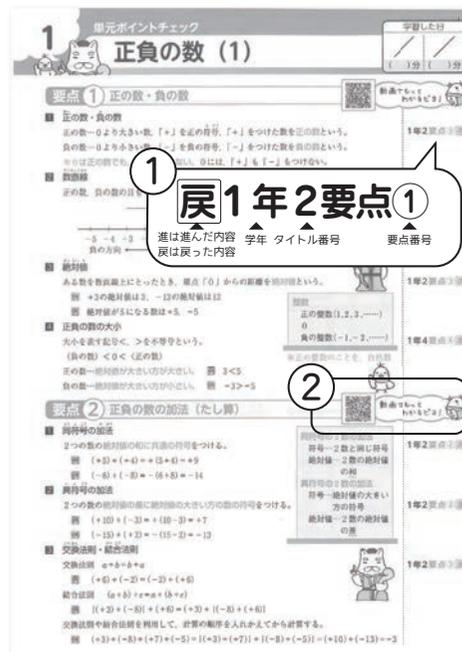
学校の授業	教科書ページ	予習・復習らくらく帳	要点シート	テスト対策
目 0より小さい数	14~16	6		
目 正の数・負の数で量を表すこと	17~18	8		
目 絶対値と数の大小	19~22	10		
目 正の数・負の数の加法	24~28	12		
目 正の数・負の数の減法	28~29	14		
目 絶対値と数の大小	29~30	16		

目次は、学校の教科書や各テキストのどこのページ・項目に対応しているのが、ひと目でわかるようになっています。

# 中学生用テキストの使い方 まるわかり要点シート



各単元で押さえておくべき要点がまとまっています。赤字や赤いベースに載っている用語は、生徒さんがきちんと覚えているかどうかチェックしてあげてください。



### ①フィードバック機能

つまずいた時は過去に学習した関連する単元が確認できる便利なフィードバック機能がついています。生徒さんがニガテな単元と一緒に戻ってあげ、もう一度要点を確認しましょう。

### ②映像授業で解説

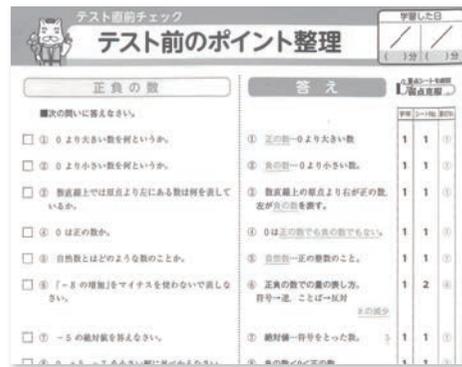
2次元コードをスマホやタブレットで読み込むと、要点解説動画を視聴することができます。

★わくわくはp.5をご確認ください。

### 先取り・戻り学習に

系統的に学習する科目には学習システムと関連図がついています。先取り学習や戻り学習の際に活用してください。

★教える上で不安な単元がある場合は指導の参考書として先生も活用してください。



### テスト直前チェック

巻末には一問一答形式の問題集がついています。要点確認やテストに出題されやすい問題が厳選されています。解答が横についているので簡単に答え合わせができ、テスト前や総復習などで自分の弱点を短時間で正確に把握することができます。

よく間違える問題にチェックを入れて繰り返し演習を行ないましょう。

中学生用テキストの使い方 ※小学生テキストも共通の使い方です。

# まるわかり要点シート ~ 映像授業の視聴 ~



各単元ごとに記載されている2次元コードをスマホやタブレットで読み込むと、各単元の要点を映像授業で解説してくれます。映像授業は、家庭教師のみなさんをサポートしてくれます。生徒さんが1人で勉強する時間(家庭教師のみなさんが指導しない時間)に予習や復習として観てもらいましょう。

学校の授業を受けることができない生徒さんへも、映像授業を使って指導していただけます。本来は『予習→授業→復習』という形で勉強していますが、自宅学習のみの生徒さんの場合は『予習→映像授業→復習』という形で勉強していきます。

**映像授業が家庭教師のみなさんをサポートします**

生徒さんが1人で勉強するときに観てもらおうなど活用してください。

5教科対応

スマホやタブレットで2次元コードを読み込むと…

5分~10分ほどの映像授業が流れて、要点を解説してくれます。

- 予習や復習として…
- 指導中に教えきれなかった部分のフォローとして…

スマホやタブレットをお持ちでない生徒さんは、保護者さまに協力してもらい映像授業が観られる環境を整えてもらう場合がございます。その場合は保護者さまにご相談ください。動画再生には通信量を多く使用するので、Wi-Fi環境で映像授業を視聴することを保護者さまや生徒さんに推奨してください。

中学生用テキストの使い方

# 予習・復習らくらく帳



生徒さんの教科書に合わせて授業単位で区切られているため、見開き1ページが毎回の授業1回分にあたります。予習では左ページを、復習では右ページを使用します。

※テキストは、後々見直しやすいように必ず書き込み式ノートとして使用してください。

**①教科書の要点**

単元のポイントがまとまっています。予習時に目を通し、わからないところには線を引いて学校の授業で集中して聞くようにしましょう。  
\*授業を聞いてもわからなかったところはマーカーで再度線を引いてもらってください。

**②パターン**

教科書の要点を使ったパターン別の問題が押さえてあります。内申が3以上あるようであれば予習で挑戦させてみましょう。

**③基本・応用問題**

復習部分には基本問題と応用問題があります。生徒さんのレベルに合わせて問題を選び、必ず基本問題が解けるようになってから応用問題にうつりましょう。できなかった問題はチェックを残してもらい、テスト前に見直す習慣をつけてあげましょう。

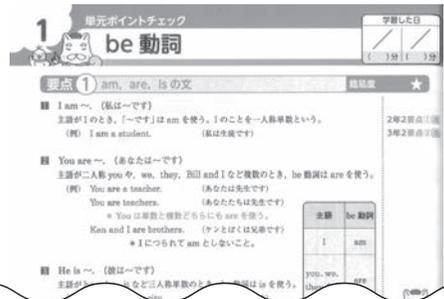
**④弱点克服**

わからない問題があればこの指示に従い、予習のパターン問題に戻って基本と一緒に確認しながら挑戦してみましょう。問題がどうしても解けない場合は、『まるわかり要点シート』をチェックしましょう。詳しい解説を見ながら解くことで理解がさらに深まります。

※基本的に答え合わせは生徒さん自身で行なうよう指示を出しましょう。万一、答えを写してしまう場合は、保護者さまに保管してもらうようにしてください。



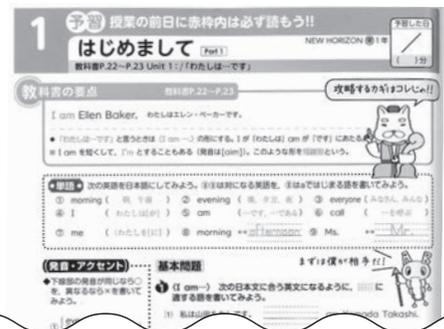
# 中学生用テキストを使った教科別指導方法 英語テキスト



## まるわかり要点シート

各単元ごとの要点が例文を使って解説されています。つまずいたら戻って見直しましょう。

また、テスト直前チェックは文法・重要表現・熟語・単語と分かれていますので苦手なところを中心に対策ができます。



## 予習・復習らくらく帳

基本文の解説や、単語が載っています。  
\*単語の確認テストは必ず毎回行なってあげてください。  
\*わからない単語は辞書等で調べる習慣をつけましょう。

### 予習の出し方

『予習・復習らくらく帳』に基本文の解説が載っているので授業の前に読んでわからないところにチェックを入れてから授業を受けましょう。

英語が苦手な生徒さんには単語を予習するように指示してあげてください。

### 復習の出し方

基本構文を使った問題になっているので復習の確認として解かせましょう。やっていてわからないところは基本文や『まるわかり要点シート』で見直しましょう。

# 中学生用テキストを使った教科別指導方法 国語テキスト



## まるわかり要点シート

教科書の物語や小説とともに、考え方やまとめが載っています。

テスト前や指導の際に確認すると理解が深まります。

国語が苦手な生徒さんは、考え方に解答を導き出すヒントが載っているのでまずは考え方を読んでみましょう。



## 予習・復習らくらく帳

学校の先生によって進度が違うので、どの単元をやっているのか確認しながら進めましょう。

単元によって(1)~(3)の問題があります。(1)は漢字・文法、(2)と(3)は文章問題が載っています。

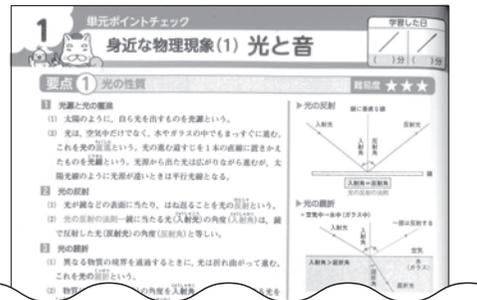
### 予習の出し方

『予習・復習らくらく帳』の漢字を練習をさせましょう。教科書の音読も効果的です。  
\*漢字は暗記する必要があるので、こまめに確認テストをしましょう。

### 復習の出し方

『予習・復習らくらく帳』の(2)の文章問題の練習をさせましょう。学校の授業では、ひとつの単元を数時間に渡り進めていくので、単元が終わってから解くようにしましょう。

# 中学生用テキストを使った教科別指導方法 理科・社会テキスト



## まるわかり要点シート

各単元のポイントがまとまっています。図説が載っていてわかりやすいので、調べながら使しましょう。

\*社会は中1:地理 中2:歴史 中3:公民という構成になっています。

## 予習・復習らくらく帳

標準版になっています。学校の授業内容を確認して単元と合わせて使ってください。

理科は一問一答と穴埋め問題、社会は一問一答と記述問題です。

\*社会は中1:地理世界・歴史Ⅰ 中2:地理日本・歴史Ⅱ 中3:歴史Ⅲ・公民という構成になっています。

### 予習の出し方

『まるわかり要点シート』を見ながら『予習・復習らくらく帳』の問題を解いてみましょう。

予習の段階では解答を書く紙を別に用意し、そちらに解答を書いていきましょう。

解けなかった問題やわからないところは学校の授業で集中して聞くようにしましょう。

### 復習の出し方

復習は『まるわかり要点シート』等は見ずに実際に問題を解いてみましょう。

\*理科・社会は暗記科目なのでしっかり覚えているか必ず確認テストをしましょう。

\*理科は授業で行なった実験もテストによく出るので学校でもらってくるプリント等も確認してあげましょう。

# 小学生用テキストの種類



## 普通の学校の授業の予習・復習、テスト対策

### まるわかり要点シート

算・国・理・社【標準版】

毎日の予習・復習やテスト勉強の際につまずいた部分やわからない部分を確認するための参考書です。問題数が足りない時や例題としても使用してください。先生の指導参考書としてもお使いいただけます。

### 予習・復習らくらく帳

全教科【標準版】

学校の教科書ごとに作られた予習・復習が効率的にできるテキストです。要点と問題がまとまっています。どんなに時間がなくても、1日たった15分でできる仕様になっています。

★テキストに貼る「修行じゃ・あと一步・スゴイ」シールが付いています。

### でるモンテスト対策本

全教科【標準版】

テストに出やすい問題を集めた予想問題集です。「20分」の制限時間を設けているので、解答の時間配分も同時に鍛えられます。さらに、苦手な問題は『予習・復習らくらく帳』に戻って基本を確認できるので効率的にテスト対策ができます。

### 小学生ワーク

国語の追加教材【教科書準拠】  
※採択が【光村・教出・東書】の場合のみ

準拠版の問題集なので、教科書と同じ文章題が載っています。普通の予習復習やテスト対策にお使いください。

学年	教科書準拠	光村	教出	東書
5年の復習		2~24	—	—
1 つり合いのとれた図形を調べよう	8~23	25~27	①~⑫	1
2 数量やその関係を表そう	24~32	28~31	⑬~⑳	2
3 分数のかけ算を考えよう	34~52	32~37	㉑~㉓	3

### ★教科書対照表(別紙)

学校の教科書や各テキストのどのページ・項目が対応しているのか、ひと目でわかるようになっています。

## 丁寧な解説付き、解答解説

### 解答解説

生徒さんが見てわかりやすい、丁寧な解説付きの解答集です。

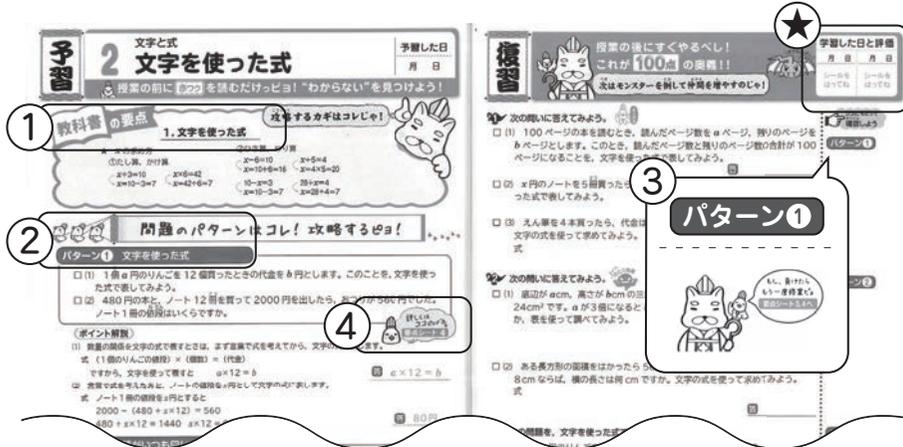


# 予習・復習らくらく帳



生徒さんの教科書に合わせて授業単位で区切られているため、見開き1ページが毎回の授業1〜2回分に当たります。予習では左ページを、復習では右ページを使用します。

※テキストは、後々見直しやすいように必ず書き込み式ノートとして使用してください。



## ①教科書の要点

単元のポイントがまとまっています。予習時に目を通し、わからないところには線を引いて学校の授業で集中して聞くようにしましょう。  
\*授業を聞いてもわからなかったところはマーカーで再度線を引いてもらってください。

## ②パターン

教科書の要点を使ったパターン別の問題が押さえてあります。内容を理解しているようであれば予習で挑戦させてみましょう。

## ③弱点克服

わからない問題があればこの指示に従い、予習のパターン問題に戻って基本を一緒に確認しながら挑戦してみましょう。

## ④もっとくわしく

問題をもっとくわしく知りたい、理解を深めたい時は『まるわかり要点シート』をチェックしましょう。詳しい解説を見ながら解くことで理解がさらに深まります。

- ★「修行じゃ・あと一步・スゴイ」シールを貼って学習の評価をしてあげてください。
- ※基本的に答え合わせは生徒さん自身で行なうよう指示を出しましょう。
- 万一、答えを写してしまう場合は、保護者さまに保管してもらうようにしてください。

# 小学生用テキストの使い方



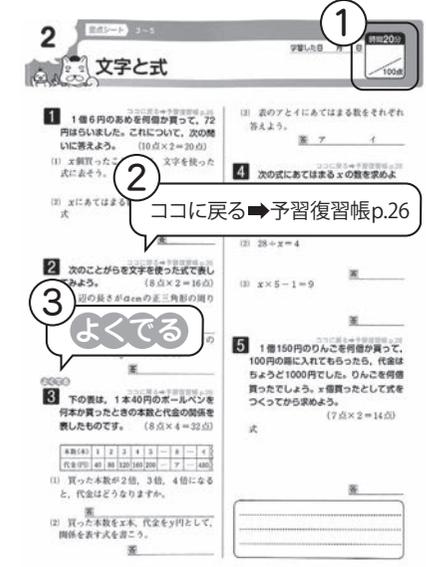
## でるモンテスト対策本

1回20分程度でできるようにテストをまとめています。テスト前の最終確認として使用しましょう。\*小学校は定期テストではないので、随時生徒さんにテスト日程を確認して進めましょう。

①テスト前の最終確認  
制限時間20分を目指して、本番さながらの集中力で取り組ませてください。

②弱点克服  
わからない時や間違えた時は、『予習・復習らくらく帳』で基本に戻ることができるので、効率的に弱点を克服することができます。

③よくできるマーク  
テストによく出される問題には「よくできる」マークがついています。マークがついている問題を重点的に見直す点数アップに効果的です。



## まるわかり要点シート

各単元で押さえておくべき要点がまとまっています。赤字の用語は、生徒さんがきちんと覚えているかチェックしてあげてください。

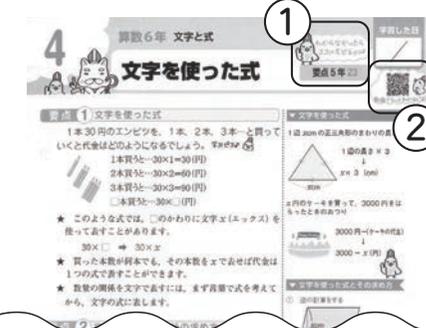
①戻り学習に  
前学年への戻り学習ができる仕様になっています。

②映像授業で解説  
2次元コードをスマホやタブレットで読み込むと、要点解説動画を視聴できます。  
★くわしくはp.5をご確認ください。

※教える上で不安な単元がある場合は、指導の参考書として先生も活用してください。

## 解答解説

解答だけではなく、丁寧な解説付きです。間違えた問題の確認はこのページに戻ればよいのか、一目でわかるようになっています。



# 高校生用テキストの種類

## 普段の学校の授業の予習・復習、大学入試対策

### SUCCESS 教科書パーフェクト

【教科書準拠】  
※国語総合は販売終了

コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ・数学Ⅰ、A、Ⅱ、B・国語総合

「SUCCESS教科書パーフェクト」は全国で採択されている教科書のほとんどをカバーしています。英語や古文、漢文は本文中の単語や熟語の意味、重要事項さらに全訳がまとめられているので、予習復習の効率がアップして、定期テスト対策にも活用できます。



### 高校ハイスコアナビ

【教科書準拠】  
※全教科 販売終了

数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B

「高校ハイスコアナビ」は学校授業と並行した予習・復習から、大学入試対策まで効果的に勉強できる学習書です。



### SUCCESS 基礎力養成ゼミ(現役合格ゼミ) 【標準版】

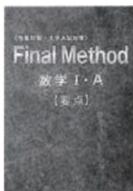
英文法・数学ⅠA・数学ⅡB・国語(古典)・物理基礎・生物基礎・化学基礎  
「SUCCESS基礎力養成ゼミ(現役合格ゼミ)」は教科書レベル、センター試験・中堅大学文系レベル、国公立二次文系レベルなど幅広い演習問題で基礎力固めと応用力養成に役立ちます。



### Final Method 【標準版】

英語表現Ⅰ、Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ  
数学ⅠA・数学ⅡB・国語  
物理基礎・生物基礎

「Final Method」は基礎の地固めをはじめとして、授業対策・弱点攻略・定期テスト・大学入試の対策までを効率的に勉強するためのテキストです。



### FinalMethod 解法テクニック 【標準版】

英語・数学ⅠA・国語

「解法テクニック」では、基礎知識よりも解法テクニックが問われる問題について、問題のパターンとテクニックの意味や使い方が解説されています。



## 高校生用テキストの使い方

# SUCCESS教科書パーフェクト

※テキストは、後々見直ししやすいように必ず書き込み式ノートとして使用してください。

## 英語Ⅰ



- ①「Summary」「Words&Phrases」では各単元ごとの要点や単語、熟語が記載されています。
- ②また「Grammar」では文法について説明されているため、予習に使用することができます。
- ③「Exercise」では、前ページの単語や熟語、文法をふまえた問題が用意されているので、予習としても使用することができます。
- ④「Reading」では単元のまとめ問題が記載されているので、学校の授業で対象の単元を学習し終えた後に、復習として使用することができます。

## 国語総合



- ①現代文編と古文編、漢文編で構成されています。それぞれ学習の導入として、文章の要旨が記載されています。また、古文では品詞分解が記載されており、漢文では書き下し文が記載されています。
- ②「定期テスト予想問題」は各単元ごとに用意されており、定期テスト対策に向けた、基礎固めの問題から、実践的な問題まで、幅広く出題しています。復習として使用することができます。

## 高校生用テキストの使い方

# 高校ハイスコアナビ

## 数学ⅠAIB



学校で使用する教科書の解答と解説が記載されたテキストです。教科書の該当ページが各ページの右上に記載されています。学校の教科書における問題の答えでもあるため、先生または保護者さまの管理のもと使用することをお勧めします。

# SUCCESS基礎力養成ゼミ(現役合格ゼミ)

SUCCESS基礎力養成ゼミ(現役合格ゼミ)は先生の指導に合わせて使ってください。指導日に合わせて予習と復習の指示を生徒さんにしっかりと伝えて下さい。

テキストの「Point」は生徒さんの予習範囲として使用して下さい。問題のレベルは「Training」→「Exercise」→「Challenge」の順に難しくなるため、生徒さんのレベルに合わせて出題して下さい。もし、「Challenge」まで進むことが難しいと判断した場合は、「Training」までを予習として、「Exercise」を指導中や復習として出題するとよいです。

※必ず順番通りにテキストを進める必要はありません。テキストにチェックテストがあるので、生徒さんに実施していただいて、苦手部分から教えていくという使い方をされる先生も多いです。  
※テキストは、後々見直ししやすいように必ず書き込み式ノートとして使用してください。

## 英文法



①基礎を理解できるように、「Point」「Check」では各文法項目の要点や理解度をチェックする練習問題が記載されています。

②「Training」では「Point」「Check」で学んだことが身に付いているかの確認をすることができます。予習や復習として使用することができます。

③「Exercise」では各チャプターの総まとめとして、大学入試レベルの応用力養成を目指した問題が用意されています。

## 数学ⅠA・数学ⅡB・物理基礎・生物基礎



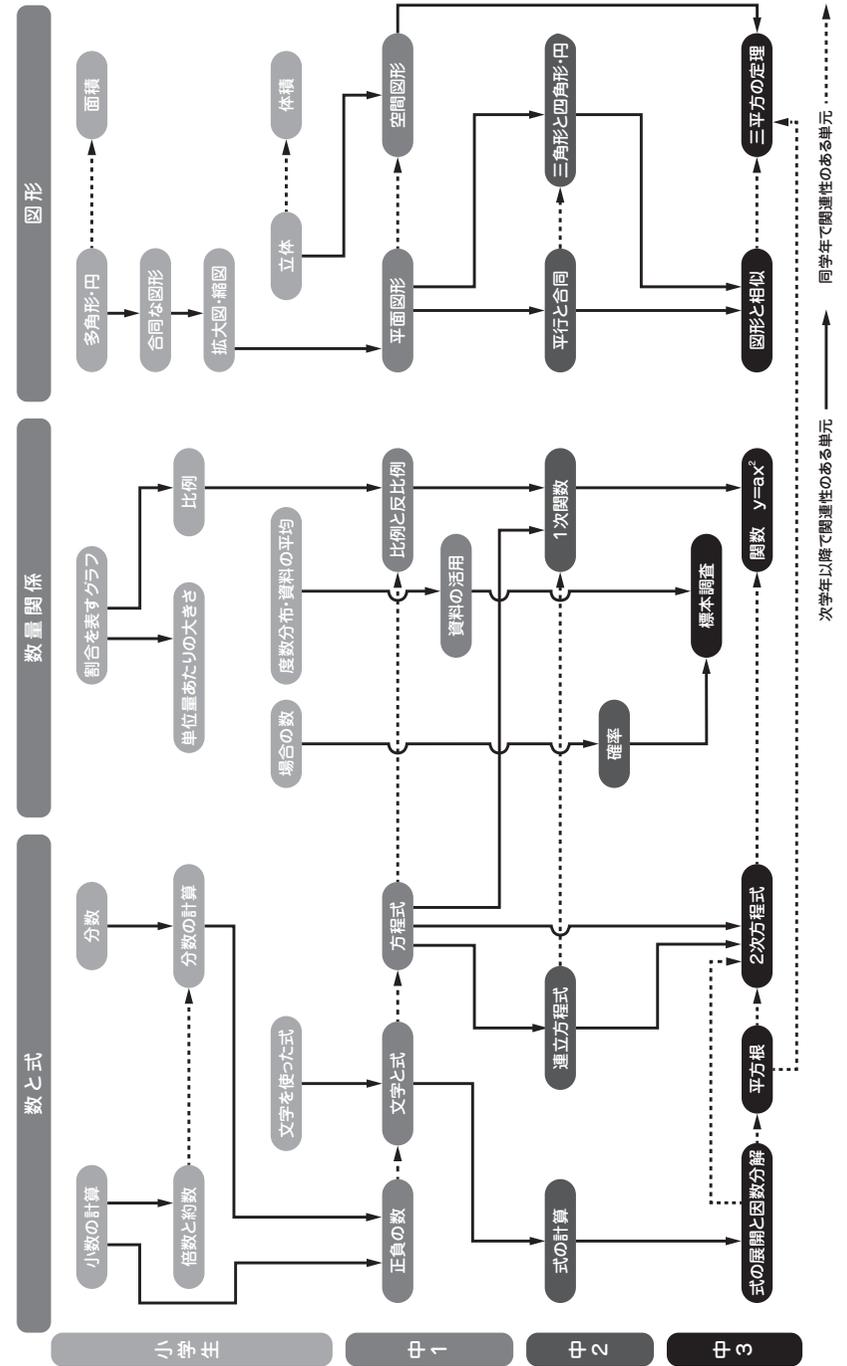
①「チェックポイント」では単元の要点がまとめられており、「例題と解法」では出題のされ方やその解き方が記載されています。

②「基本問題」では「チェックポイント」「例題と解法」で学んだことが身に付いているかの確認をすることができます。

③「応用問題」では大学入試レベルの応用力養成を目指した問題が用意されています。

なお、数学ⅠA・数学ⅡB・物理基礎・生物基礎のテキストの構成は全て一緒です。

# 算数・数学系統図



# 英語系統図

中1

中2

中3

